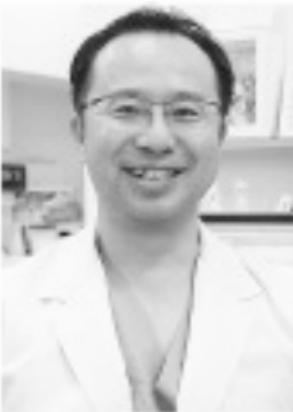


前立腺肥大症手術は日帰り手術が当たり前の時代に

まっているという。日常生活に支障が出るようなことはないのが現状です」と。まず薬で治療をすることは、世界でも最先端になるが、それで済まなくなれば、手術をする」と。このことになると、手術をすれば、手術をする」となる。

「内服薬にも良い薬がありますが、高血圧の薬と組み合って、腎・泌尿器科クリニック（神奈川県平塚市）

中高年男性がオシッコの出が悪くなってきた場合は前立腺の肥大である。50歳で3割、60歳で6割が見られるといわれているが、組織学的には、すでに30代後半から変化が始まっています。根



加藤怒院長

最先端のダイオードなら、肥大した前立腺の中身を蒸発させて消してしまうことができる

加藤院長は、身体へのドレーザーの医療機器を碎いて体外に出すのです。少なくともスピーディーな負担が少なくて日帰り可能なホルミウムレーザーを使つた手術に適込んでが、細かく研ぐときに、安全で簡単に良い手

い手術を実現するため、費用も手掛けています。

「私が目指しているのも時間がかかる手術を100例以上も行

つて、いわばホルミウムレーザー手術のオピュティードリーダーである。もつとも通んだ手術法と評価されているホルミウムレーザーの医療機器は、大学病院でさえいまだに導入している施設は多くはないのだが、

前立腺肥大症手術は、すでに、さら脳の中身をくり抜いて膀胱に落とした後、細かく「もうと體への負担が少ない部分もあります。こけできるわけだ。しかし、手術は、肥大した前立腺、より出血が少ないところに行くダイオードで手術を終つてしまつてしまつ

る」。【取材協力】「かとう腎・泌尿器科クリニック（神奈川県平塚市南原2丁目）」